

初心者のための気象情報システムの構築

4 Y-2

伊藤 小琴 柳田 麻里絵 川村 陽子 前川 仁孝 伊與田 光宏

千葉工業大学

1. はじめに

最近、気象情報に対する重要性が増加してきている。気象業務法改正、気象予報士制度発足により、気象予報士試験対策や気象に興味を持ち学習したいと思う人も増えてきた。しかし難しい専門書が大半で、初心者にとってあまりよい環境ではない。最近では、気象予報士試験の為の通信教育講座等が開設されているが、初心者にとってはコストの面からも学習し難いのが現状である。また学習教材の大半を占める書籍は、時間的変化をする気象の学習にはあまり向いていないと考えられる。近年のコンピュータの普及、インターネット利用の爆発的増加により、インターネット上で気象情報を提供するサイトも多く見られるようになったが、それらはインターネット上に散在し探し出すのが困難であったり、詳しい解説が無く初心者向けでないものが多い。

本研究では、初心者でも気軽に気象について学習できる環境を提供するシステムの構築を行う。

2. システム提案

本研究ではこれまで、気象学習の初心者を対象にした気象情報システムとして以下の機能を作成してきた。

- 気象情報
 - ・最新気象情報
- お天気講座
 - ・動画等の利用
 - ・用語集とのリンク
- 気象予報士試験
 - ・試験情報
 - ・試験対策講座
 - ・模擬試験

今回は、前回までに作成した気象情報システムをベースに、お天気講座、気象予報士試験教材部分を強化し、データベースを付加する。データベースの内容は、以下の通りである。

- お天気データベース
 - ・過去の気象データ（天気図、ひまわり画像等）
 - ・気象用語と解説
 - ・気象予報士試験過去問集

3. システム構成

本システムは、(1)お天気講座モジュール、(2)気象情報表示モジュール、(3)気象予報士試験講座モジュール、気象用語や過去の気象データを格納した(4)お天気データベースモジュールで構成されている。

(1)~(3)のモジュールは、それぞれお天気データベースモジュールにリンクしており、気象用語や気象データ、気象予報士試験の問題を検索可能となっている。また、お天気データベースモジュールは、ファイルメーカーPro4.0を用いて作成する。

4. 実行例

図1にデータベースの実行画面例を示す。ここでは過去の気象データ（気象衛星ひまわり画像）の検索画面例を示す。画像の種類、日付、時間等から検索が可能である。また、検索した画像を利用し学習を進めることが可能である。

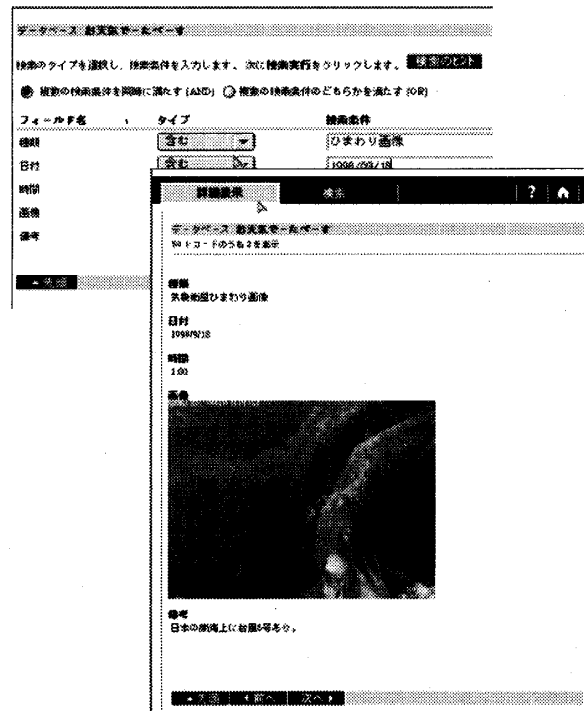


図1 実行画面例

Weather Information System

Ogoto ITO, Marie YANAGIDA
Yoko KAWAMURA, Yoshitaka MAEKAWA
Mitsuhiro IYODA

Chiba Institute of Technology

5. おわりに

本研究では、気象に興味を持っている初心者を対象に学習可能なシステムの構築を行った。インターネットを利用することにより、プラットフォームに依存しないシステムの構築を実現した。データベースを付加することで、学習効果の向上が期待できる。